

はじめに

集中豪雪に悩まされたこの冬でしたが、ようやく寒さも過ぎ去り、屋外ではしゃぐ子どもたちの元気な声が聞かれる頃となりました。毎年恒例の「はぐくみネットワーク」をここにお届けいたします。「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の事例集であり、今年で第21集となります。子どもたちの育ちに関心を持つ多くの方々、そして実際に子どもの育ちを支える活動に取り組む方々にご覧いただき、日々の活動のヒントを見つけていただければ幸いです。

またこの春は、「家庭教育支援ガイドブック」が、装いも新たに第5版として発刊されることになっています。子育て中の皆様や、子育てを支える活動に取り組む方々に向けて、新潟県教育委員会と新潟県地域家庭教育推進協議会が作成したものです。様々な情報がリニューアルされ、追加されました。さらにその都度、用途に合わせて必要な箇所を開いていただけるよう、見出しも工夫されています。こちらもぜひ、いろいろなシーンでご活用ください。

さて、今この文章を書いているのは3月初めです。暖かな窓の外に目を向けながら、ふと広い世界に思いが及ぶこともあります。世界のどこかでは、私たちが当たり前だと思っている「静かな夜」や「温かな食卓」を奪われ、子どもたちやそのご家族が悲しみの中に置かれている現実があります。ニュースで流れるその光景に、胸を痛めている方も多いのではないでしょうか。

子どもたちが笑顔で明日を心待ちにできる環境、それは決して当たり前のことではないのだ、と痛感させられます。子どもたちが安心して思いきり遊び、学び、失敗を乗り越えて成長して行ける毎日を、これからも地域の大人たちが力を出し合って、支えていけたらと思います。それが平和のいちばん身近で、いちばん大切な形ではないかと思うこの頃です。

これからも「社会全体で子どもをはぐくむ運動」にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年3月
新潟県地域家庭教育推進協議会
会長 佐藤朗子